

入院生活での履き物は、転びにくい“靴タイプ”のものを準備しましょう。

誰もが転びやすくなります

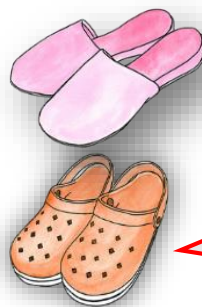
入院生活は、住みなれたご自宅と生活環境が大きく異なります。

- 病気やケガによる体力や運動機能の低下がみられます。
- ほんの1日寝ていた(安静にする)だけでも、思いがけず筋力が低下していることがあります。
- 点滴をしたり、身体に管が入っていると、動きにくくなったりします。
- 薬によっては、ふらつきが生じるものもあります。

誰もが転びやすい状態になります。

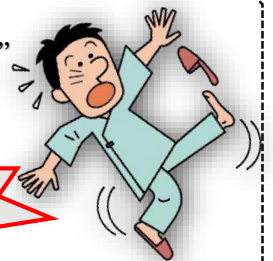
転んだ結果、頭を打ったり、骨折などのケガをするおそれがあります。

スリッパやサンダルなどのように
かかとが覆われていない履き物は
転びやすく危険です！



“すべりやすい”
“つまずきやすい”
“ぬげやすい”

あぶない！



このような転倒事故が起こっています

【ケース1】

明け方頃、トイレから病室にもどろうとしてオーバーテーブルに手をついたところ、滑って転んでしまった。室内は暗くスリッパを履いていた。→大腿骨骨折で手術

【ケース2】

床に落ちた薬を拾うためスリッパ履いてベッドから降りたとき、スリッパのかかとを踏んでしまい頭と大腿を強く打った。→硬膜下血腫

【ケース3】

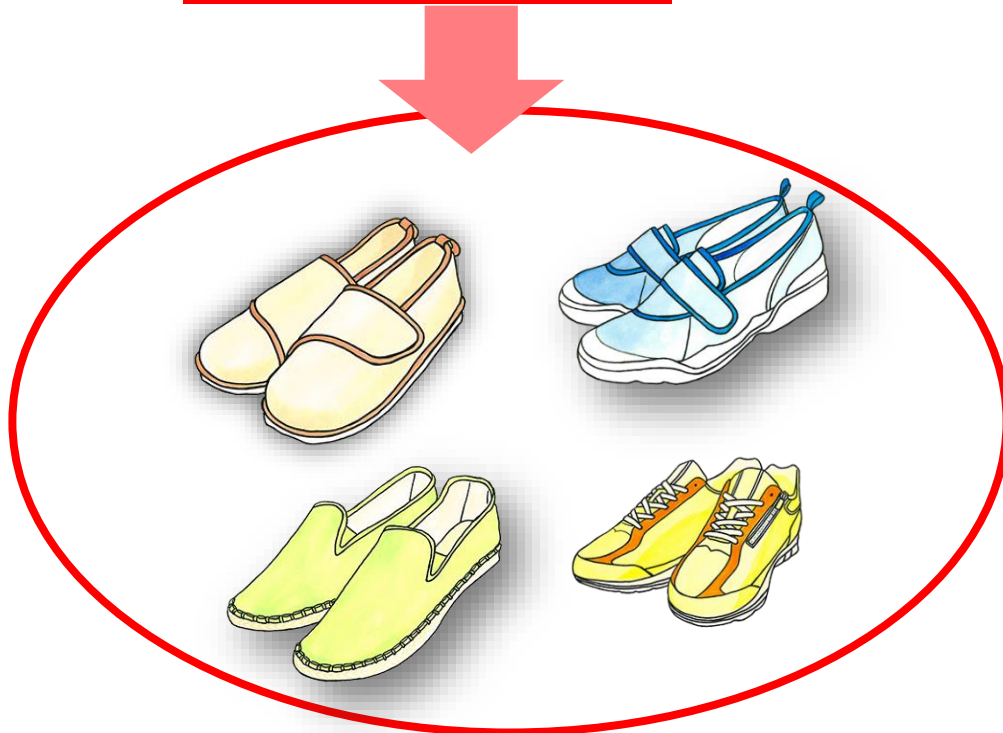
病室にある洗面台までスリッパを履いて一人で歩行し、方向を変えようとした際に転んだ。点滴台を押して歩行していた。→大腿骨骨折のため入院が延長

はきものを意識して、安全な入院生活を！

入院中におすすめする履き物

- 履きなれていて、足元が安定している、かかとが覆われた靴タイプの履き物が安全です。
- ご自宅で履いている運動靴やスニーカーなどをお持ちいただいても結構です。
- 転倒予防シューズがあります。（当院売店でも販売しています）

転びにくい かかとを覆うタイプの履き物 で安全な入院生活を送りましょう。



かかとの覆われた履きものを準備しても、かかとを踏んで歩くことは危険です。
注意しましょう。

ご家族の協力も大切です！

安全な履き物が準備されているか、確認しましょう。

患者さんは、「短い入院だからスリッパで」「家でもスリッパだから」と言われる方もいますが、入院中の転倒によって重大な傷害が生じることがあります。転びにくい履き物をはくように、是非すすめてください。